

“のどの写真を使って病気を診断すること” の研究をしています



抗原検査

- おとなと比べて、こどもは通園や外出機会が増えると風邪をひきやすくなり、熱や咳などの症状がでます。
- こどもの風邪の原因はたくさんあり、インフルエンザウイルス・RSウイルス・アデノウイルスなどの一部の病原体は綿棒を鼻の奥に入れる「抗原検査」で診断できます。
- 抗原検査は痛いこと、発症早期は正確に診断できないこと、複数の病原体の検査で何度も綿棒を入れる必要があることが、これまでの問題でした。
- 人工知能（AI）は高い精度で画像を認識することができるため、のどの写真をAIに分析させることで痛みがなく風邪の原因を早期に診断する技術開発を目指しています。

ご参加を
お願い
したい方

- 熱や咳の症状があり、入院することになった6歳未満のお子さん
- 入院してPCR検査を受ける予定のお子さん

お願い
すること

- のど（咽頭）の写真を専用の内視鏡装置で撮影させてください
- 個人的な情報をのぞいた情報（年齢や症状の情報）と写真データをAIに分析させます



のどの撮影

目指して
いること

風邪をひいてお近くの小児科を受診したときにのどの写真を撮影するだけで、「痛みなく」「早期に」「たくさんの病原体について」診断できる検査を保険適用でみなさまに提供できる未来を目指しています

ご興味がある方は、お近くの小児科スタッフまでお声かけください。